

今月の花



イヌタデ (園庭あちらこちら)

さくら新聞

～笑顔de共育で～



令和3年10月1日発行

石神井町さくら保育園

〒177-0041

練馬区石神井町7-25-45

TEL 3997-0070

FAX 3997-0972

月の主題 思い切り身体を動かそう

今月の保育のねらい

- ・生活習慣を整え、元気に過ごす
- ・身体を動かして遊ぶ楽しさを味わう



子どもらしい子ども



絵本『ぐりとぐら』の作者である中川李枝子さんが

『子どもはみんな問題児』（新潮社）の中で、「子どもはいつだって自分がこの世で一番と自信を持っていますが、それだけに自分より小さい子にはとても寛大で、大人が何も言わなくとも小さい子を守ろうという優しさを持ち合わせています。子どもらしい子どもは、ひとりひとり個性がはっきりしていて、自分丸出しで堂々と毎日を生きています。それで大人から見ると、世間の予想をはみ出す問題児かもしれません。だからこそ、かわいいのです。』と、述べておられます。



昔から「手のかかる子ほどかわいい」といわれますが、手がかかるからこそ子どもだし、手をかけてもらったからこそ、人に手や心をかけてあげられる人に育っていくのだと信じています。どんなに保育園での生活が楽しくても子どもたちにとって一番安心できるのは「家庭」です。

子どもたちが、大人の私に心を許してくれたのだと感じられる言葉があります。「うちに遊びに来てもいいよ」と言ってくれるときです。ああ、この子は私を自分の一番大事な場所に入れてくれるほど、私を信頼してくれたのかと、心が幸せで満たされる瞬間です。

以前、幼稚園で働いていたとき、園バスの中で子ども同士の会話はスリル満点でした。「ねえどの先生が一番かわいいと思う？」急に始まる保育者ランキング。「〇〇先生はね、髪が長くて、服もかわいい！」あっけらかんと繰り広げられる会話に耳をそばだてながらバスの壁になりきって聞いていると、キレイ部門・かわいい部門に名前があがることはなく、いつの間にか、担任の名前を順にあげながら『〇〇先生は□□だから好き』ランキングに会話が変わっています。そろそろ

私の順番がくる・・・息を呑んだ瞬間、「ありませんはいはおもしろいから好き」ん?・・・当時20代だった

私は、それは褒められているのだろうか・・・微妙な気持ちになってしまいましたが、今ならわかります。子どもたちは面白いことが大好きです。つまり、最高のほめ言葉を頂戴していたのだと。

保育の世界では、子どもたちに教えてもらうことがたくさんあります。子どもらしい子どもは大人に付度しませんし、嫌な時はいや、面白いことには夢中になります。人生長く生きている大人は、知っていることはたくさんあるけれど、子どものように素直に感じたり、柔軟に考えたり、人目を気にせず表現したりすることが難しくなり、理論武装で子どものためといいつつ、大人の都合を子ども押し付けてしまう瞬間があるかもしれないと反省します。

中川李枝子さんの言葉です。

焦らないで、だいじょうぶ。
悩まないで、だいじょうぶ。
子どもをよく見ていれば、だいじょうぶ。
子どもは子どもらしいのがいちばんよ。



10月行事予定

日	曜日	内容
5	火	身体計測 (幼児)
6	水	身体計測 (乳児)
7	木	さくらアートくらぶ (4歳児)
8	金	うんどうかい (幼児)
12	火	おはなし会
14	木	さくらアートくらぶ (4歳児)
15	金	避難訓練
16	土	やしリンピック
20	水	0歳児健診
21	木	さくらアートくらぶ (5歳児)
28	木	芋煮会



*絵本貸出：毎週木曜日

*ニコニコフォト撮影日：

8 (金)、16 (土) 28 (木) です。

子どもたちが豊かな子どもらしい子ども時代を過ごせるために、子どもを寛容に受け止められる気負わない大人らしい大人でありたいと思います。 (文責：有馬 聡子)